

氷川神社
社報 第三十三号

武蔵一宮



祭事暦

当社では毎日の日供祭以外にも年間約七十の祭典を行い、謹んで御皇室の弥栄と国家安泰、五穀豊穰と氏子崇敬者の繁栄を祈願しております。

- 一月 一日 歳旦祭
- 二月 二日 日供始祭
- 三月 三日 元始祭
- 七月 七日 昭和天皇遙拜式
- 十五日 献詠祭
(兼題 夢)
成人祭
- 二月 一日 月次祭
- 二月 二日 節分祭
- 六月 六日 初午祭(稻荷神社)
- 七月 七日 的の神事
- 十一月 十一日 紀元祭
- 十二月 十五日 献詠祭
(兼題 白鳥)
祈年祭
- 二月 十七日 祈年祭
- 二月 二十三日 天長祭
- 三月 一日 月次祭
- 三月 十五日 献詠祭
(兼題 妹)
郷神楽
- 三月 二十日 春分祭

春迎えの神事——いくわのしんじ的の神事——



的の神事は二月七日に行われる祭典で、本殿祭を奉仕した後、境内の摂末社を巡拝し、奉射場にて奉射の儀を行います。起源は不詳で、古くは流鏑馬神事を行っていたという事ですが、江戸時代後期の文化年間にはすでに名称のみ流鏑馬神事と古名を踏襲となり神事が行われておりました。明治の改暦以前には正月七日に行われており、神饌として若菜御粥を供え、奉射の儀を行い神楽を奉奏致しました。七草がゆには春の七草が用いられますが、現行の若菜御飯には「なずな」が炊き込まれます。

的の裏に「鬼」の字が書かれるのは、江戸時代後期に伊勢貞丈いせさだたけが著した有職故実書の『貞丈雑記』のていじょうざつぎ一説には悪魔を退治する心であるためといわれます。伊勢貞丈は室町幕府の政所執事の家柄で、武家の礼法故実を伝えてきました。

的を「いくわ」と読むのは、仁徳天皇十六年に高麗より鉄の盾が献られた際に、盾人宿祢たてひとのすくね（的戸田宿祢いくわのすくね）がこれを射貫き、臣の姓を賜った故事に由来します。つまり、盾人宿祢のごとく、雄々しく矢を射ち見えない悪鬼を退散させる事で、その年の天下泰平と五穀豊穰を祈念するという神事になります。現在では、斎主祭員の他、大宮弓道連盟の先生方にも祭典に参列頂くとともに、奉射の儀に御奉仕を頂いております。

時代が下っても春迎えの神事では変わらぬ同じ祈りが込められております。

正月三が日

令和七年の正月は穏やかな陽気に恵まれ、一日は約九十九万人、二日は約六十万人、三日は約六十万人で、三が日の初詣参詣者は約二百十万人でした。



正月特別紙朱印

正月特別紙朱印は一月一日より授与を開始、準備分の二万枚は一月十日に終了致しました。



大宮鳶職会・若鳶会はしご乗り

一月一日、三の鳥居付近にて

大宮鳶職組合によるはしご乗りが行われました。



埼玉県赤十字献血バス運行



一月二日、第一駐車場に埼玉県赤十字血液センターの献血バスが運行し、参拝者の皆様に献血の御協力をお願い致しました。

大宮能楽研究会議初め

一月三日、舞殿にて大宮能楽研究会による謡初めが行われました。



氏子総代初祈禱祭

一月十日、氏子総代・評議員約八十名参列のもと新年の初祈禱祭を行い、皆様の無病息災と御活躍を祈願致しました。



RB大宮アルディージャ必勝祈願

一月十六日、RB大宮アルディージャの原博実代表取締役社長、長澤徹監督が玉串を捧げ、今期の必勝を祈願しました。



写真提供：RB大宮アルディージャ

防災訓練

一月二十八日、大宮消防署の指導のもと、放水や消火器を用いた消火訓練、避難訓練、文化財搬出訓練などを行いました。また合わせて大宮ブロック消防団及び大宮消防署職員による火災御訓練なども行いました。



毎日興業記念植樹祭



二月十一日、ゆうすいてらすのオープニング記念として、施

設建設に御尽力頂きました毎日興業株式会社の皆様に参道に植樹を頂きました。ゆうすいてらすは昨年に竣工しておりましたが、同社の創立記念日が二月十一日のため、この日を選んで行われました。

RB大宮アルデージャ
サポーター必勝祈願

二月十一日、開幕戦の前にRB大宮アルデージャ原博実社長とサポーターによる必勝祈願が行われました。



さいたま市職場体験

二月十八日より二十日まで、さいたま市中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」として浦和中学校の生徒四名を受け入れました。境内清掃や窓口での

御神札御守りの授与の他、御朱印書き体験や巫女舞装束の着装体験などを行いました。



クリスタルボウル奉納演奏

二月二十日正式参拝の後、拝殿にてクリスタルボウル奏者の柏谷基樹氏による奉納演奏が行われました。



2025 Miss SAKE
埼玉大会開催

二月二十一日、Miss SAKE埼玉大会が呉竹荘で行わ

れ、石崎智子様がグランプリに輝きました。



(左から)
準グランプリ 丹下麻衣様
グランプリ 石崎智子様
審査員特別賞 野村侑加様

氷川神社巡り特別紙朱印

二月二十二日より、東日本旅客鉄道株式会社大宮支社・埼玉高速鉄道株式会社・川越氷川神社・鳩ヶ谷氷川神社と共同で「氷川神社開運巡り」の期間限定紙朱印の授与を開始致しました(記念品は三月二十二日まで)。



春の婚礼展開催

二月二十四日、春の婚礼展としてアイテム展示会並びに新規御相談会及び模擬結婚式を執り行いました。



鳥居奉納奉告祭

三月三日、十日、末社の稻荷神社に鳥居の奉納を頂いた高橋良子様、株式会社健央様御参列のもと、奉納奉告祭を行いました。



高橋良子様

埼玉武蔵ヒートベアーズ
必勝祈願

三月九日、独立リーグの埼玉武蔵ヒートベアーズの角晃多代表取締役、清田育宏監督、上田大輝キャプテンが玉串を捧げ、今期の必勝を祈願しました。



株式会社健央様

写真提供：埼玉武蔵ヒートベアーズ

新陰流正伝上泉会奉納演武

三月十六日、正式参拝の後、舞殿にて新陰流正伝上泉会会長島正紀氏他会員により演武が奉納されました。



春の特別紙朱印
「しだれ桜と神橋」

三月二十日より春の特別紙朱印「しだれ桜と神橋」(四月五日終了)、また春の限定お守り「咲守」の授与を開始致しました。



埼玉県煎茶道連盟献茶式
春の茶会

三月二十日、埼玉県煎茶道連盟の献茶式が行われました。勅使館及び呉竹荘では春の茶会が開催、さいたま市長清水勇人様、全日本煎茶工芸協会理事埼玉県煎茶道連盟名誉顧問の松下喜山様、馬骨子才林様、蕉風流家元小林蕉洞様他約三百名の参加者がありました。

茶席 八雲清雅会 石井恵雲

専心小笠原流煎茶

川野香星

方円流

藤崎美園



「神主さんと神社を学ぼう！」

三月三十日、境内にて埼玉県神社庁主催の教化事業「神主さんと神社を学ぼう！」が行われました。境内案内、神話カレンダー原画展、「日進餅搗き踊り」、神楽舞・雅楽の奉奏、声優の中山さら氏による神話読み語り、御朱印帳作りや祓詞・大祓詞浄書体験、大判判子の捺印体験などを行いました。また共催でクラブツーリズムによる「神道入門講座(埼玉県神社庁武田淳参事)」、「遷宮について(國學院大學神道文化学部助教山口祐樹先生)」、「日本の神話について(國學院大學研究開発推進機構准教授渡邊卓先生)」の講座が開かれました。



神楽舞奉奏



雅楽奉奏



日進餅搗き踊り



神話講談



神話読み語り



氷川マルシェ

同時開催として参道では大宮のグルメが集まる『氷川マルシェ』が開催、十三店の店舗が出店致しました。



神道入門講座 武田先生



埼玉の神社 御朱印展



境内案内



遷宮講座 山口先生



祓詞浄書体験



大判判子の捺印体験



神話講座 渡邊先生



神話カレンダー原画展



御朱印帳作り



神道講座 呉竹荘



参道 氷川マルシェ



三の鳥居前 総合案内



氷川ブリュワリー／氷川の杜 YAKUMO／木下製餡／かのうや／
喜多山製菓／SidiBou／かどや／Fucuramu Coffee Roastery／恋するBANANA／
YUMMY／okuda.ham／盆栽村 若手盆栽師の会／しょうがのむし



改修前の額殿は東日本大震災後に、安全確保と耐震補強の観点から建物内に筋交いが入られておりました。



氷川茶庭 オープン

建物内



建物内には、かつての鳥居の古材が柱として用いられています。竣工時の姿を伝えるとともに新たな役割も担っています。

竣工式



一月十七日、氷川茶庭の竣工式を執り行いました。サイカンシステム株式会社との和田浩明様はじめ十五名の御参列を頂きました。こちらは参拝者用休憩所ですが、サイカンシステム株式会社が運営し飲食の提供も行います。



氷川茶庭HP





氷川神社の花手水 by美園苑

令和五年五月より楼門前や稲荷神社前の手水舎、水盤、ゆうすいてらすなどに有限会社美園苑様より花手水の奉納を頂いております。同社は宮原駅前のお花屋さんで当社での婚儀に使用するお花を納めて頂いております。

インスタグラムでは一日の月次祭や十五日の献詠祭などにあわせて奉納される花手水を発信して参りました。



手水舎とともにお花が活かされている水盤は、かつて氷川公園(現大宮公園)内にあった、料亭旅館の八重垣で使われていたものです。氷川公園には八重垣の他にも萬松楼や石州楼といった料亭旅館や、含翠楼といった休憩所、大宮遊園地ホテルなどがあり、多くの文人墨客が来園していました。大宮は東京郊外の行楽地であり、氷川公園は名勝地でした。



古絵葉書集「氷川の杜を訪ねて」より

『中山道大宮紀行』に描かれる鳥居

江戸幕府の役人であった村尾嘉陵が文政二年（一八一九）に著した紀行文『中山道大宮紀行』は当時の神社の様子を知る資料として貴重なものです。

「神主の門前に地元の人が寄り集まって作業をしている。大きな鳥居を建てるべく、手斧を打ったり、鉋を掛けたりしている。この鳥居の建つ所は、男体・女体両社に参る御手洗の橋の向かいだという。そこに網代を渡してある。」

氷川神社神主日記（東角井家文書）『大宮市史資料編Ⅰ』には文政二年の鳥居建立の次第が見え、天沼村の村人により注連縄が奉納された記録があります。男体社・女体社の近くに建立されたこの鳥居は、かつての四の鳥居で、ここはのちに神門や楼門が建てられる重要な場所となりました。鳥居への注連縄は三の鳥居でも昭和中ごろまで行われておりました。



分社紹介

全国に約二八〇社ある氷川神社の分社、その中から獅子舞の奉納がある分社を御紹介致します。

（たじも田下）氷川神社

鎮座地 長崎県大村市

田下町一五五四―二

例祭日 十月十七日

例祭神事に引き続き奉納相撲や浮立、獅子舞等の芸能が奉納され五穀豊穡、無病息災が祈願されます。

由緒沿革

中世より上、下萱瀬の総鎮守であった赤山大明神、熊野神社が明治維新を機に氷川神社として合祀されました。日清、日露以降の戦

役に萱瀬より出征の者に戦死者が無く氷川神社のご神威によるものと崇められ、大東亜戦争に至ると近隣各県よりも参拝がありました。

境内には護国神社が祀られ、戦争に徴用され犠牲になった軍馬の慰霊像も建立されています。

写真提供：
（田下）氷川神社



御祭神
健速須佐之男命
速玉之男命、事解之男命、少毘古名命

一月の奉納献華



池坊流松藤会
 桂古流
 古流
 草月流
 春草流
 草月流
 草谷智花
 小林華侑
 川嶋理智
 高橋典花
 竹下尚峰
 栗原春彩
 高山幸華

二月の奉納献華



池坊流松藤会
 桂古流
 草月流
 春草流
 草月流
 草谷智花
 川嶋理智
 高橋典花
 竹下尚峰
 栗原春彩
 高山幸華

三月の奉納献華



池坊流松藤会
 桂古流
 草月流
 春草流
 草月流
 草谷智花
 川嶋理智
 高橋典花
 竹下尚峰
 栗原春彩
 高山幸華

参道清掃奉仕御礼

参道の清掃活動を頂きました皆様の芳名を紹介し、謹んで御篤志に感謝申し上げます。参道清掃の申し込みは会社・団体様に限り受け付けております。申請をご検討の方はホームページの「各種申請・禁止事項」を御覧下さい。(五十音順、敬称略)

- ・ I love Saitama
- ・ ぶろでゅーす
- ・ 阿含宗埼玉道場
- ・ 一人のお宮奉仕
- ・ 大宮明るい社会づくりの会
- ・ (株)シグマスタッフ
- ・ クラーク記念国際高等学校
- ・ 崇教真光大宮準道場
- ・ 中央薬局
- ・ みずほ証券(株)大宮支店
- ・ 武蔵コーポレーション(株)
- ・ 明治安田生命保険相互会
- ・ 社大宮支社大宮西営業所

敬神婦人会湯茶接遇

三月一日、十五日



正式参拝及び諸会議

(敬称略)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 一月 | 二月 | 三月 |
| 八日 | 九日 | 二日 |
| 衆議院議員 枝野幸男 | 白金猿町町会 | 鎮花祭奉仕者説明会 |
| 参議院議員 高木真理 | 高鼻二丁目友の会勉強会 | 責任役員会 |
| 衆議院議員 熊谷裕人 | 武蔵菊花会総会打合せ | 敬神講社理事会 |
| さいたま市長清水勇人 | 柏谷基樹 | 氏子総代会並評議員会 |
| RB大宮アルディージャ | 立正佼成会大宮教会 | 埼玉武蔵ヒートバース |
| 二十一日 | 二十日 | 九日 |
| 益子町農業委員会(栃木) | Miss SAKÉ | 智賀都神社総代会(栃木) |
| 一人のお宮奉仕 | 埼玉大会実行委員会 | 新陰流正伝上泉会 |
| 解脱会埼玉教区女性部 | | 武蔵菊花会 |
| 埼玉県神社庁庁長高麗文康 | | 武蔵菊花会総会 |
| 二十二日 | 十六日 | 二十七日 |
| | 高鼻二丁目友の会勉強会 | 第七十五回全国植樹祭 |
| | 武蔵菊花会総会打合せ | 天皇陛下奉迎埼玉県委員会 |
| | 二十日 | 三十日 |
| | 立正佼成会大宮教会 | 氷川マルシェ |

五月、六月の行事・催事の御案内

おちみや盆栽春まつり

・日程 五月三日(土)～五日(月)
 ・会場 舞殿(協力会場)、大宮駅東口
 銀座通り(三日(土)のみ)



お問い合わせ先
 さいたま市 商業振興課
 048-829-1364 (土・日・祝休)

第四十四回大宮新能

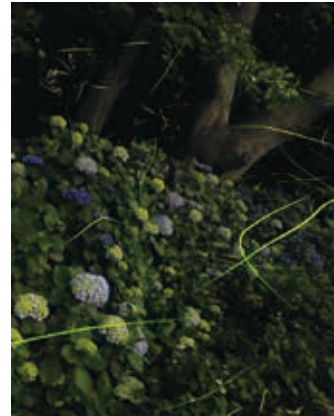
・日程 五月二十三日(金)
 二十四日(土)
 ・会場 舞殿



お問い合わせ先
 (公社) さいたま観光国際協会
 048-647-8339 (土・日・祝休)

螢放生祭及び鑑賞会

・日程 放生祭 六月七日(土)
 観賞会 六月七日(土)、八日(日)
 ・放生祭 齋場 舞殿
 ・鑑賞会 会場 本殿西側水路、蛇の池



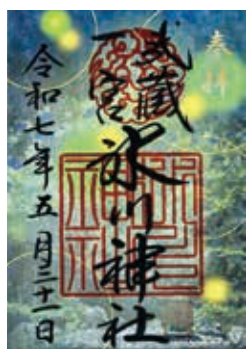
氷川マルシェ
 同時開催

夏越大祓

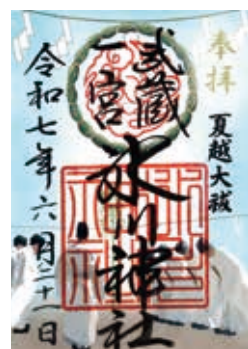
・日程 六月三十日(月) 午後二時～
 ・齋場 舞殿



第三十四号は七月二十日発行予定です



ほたる



夏越大祓



縁結守

月毎200体
 数量限定
 縁結守

アクリルカバー
 の箱入りです



特別紙朱印「ほたる」は5月31日から、「夏越大祓」及び茅の輪守りは6月21日から授与を開始予定です。数量限定の縁結守は4月から授与を開始いたしました。最新のお知らせはホームページ、SNSでお知らせ致します。

発行 令和7年4月20日 発行所 氷川神社社務所 印刷所 株式会社 秀飯舎
 協力 (田下)氷川神社 写真協力 宮野信昭 中村写真館 工藤裕之
 さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137
<https://musashiichinomiya-hikawa.or.jp>